

3 主要事業の概要

※事業費の後の（ ）書きは前年度当初予算額

フィールド1 快適交流

～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

◎良好な都市空間の形成

(施) 都市計画策定費 (建設部 都市計画課)

13,100千円 (23,034千円)

1 事業目的

市民への都市計画に関する情報提供、地域の実状に合った都市計画の策定及び都市計画事業の円滑な推進を図る。

2 事業年度

平成24年度～

3 事業概要

平成15年度に作成した都市計画図について、経年変化修正を行い、最新の情報を反映させた都市計画図を作成する。

都市計画マスタープランの見直しについて、新規土地利用計画への対応、東日本大震災後の防災に配慮したまちづくりへの対応などから見直しを進める。

4 25年度の事業内容

(1) 委託料 12,185千円

・都市計画マスタープラン見直し(基礎調査) 5,000千円

・都市計画図作成等 7,185千円

(2) 事務費 915千円

◎道路の整備

(公) 種子川筋線改良事業 (建設部 道路課) (新規)

9, 225千円

1 事業目的

国道11号線と市道角野船木線を結ぶバイパス道路として、角野船木線の整備に併せて本路線を延伸することにより、上部地区や別子山方面へのアクセスの向上を図る。

2 事業年度

平成25年度～29年度

3 事業概要

実施延長 257m、幅員11m

4 25年度の事業内容

- | | | |
|---------|------------------|---------|
| (1) 委託料 | 道路詳細設計、用地測量、登記業務 | 8,700千円 |
| (2) 事務費 | | 525千円 |

5 財源内訳

- | | | |
|--------|-----|-----------------------|
| (1) 国 | 55% | 4,785千円 (社会資本整備総合交付金) |
| (2) 一財 | | 4,440千円 |

(公) 上部東西線改良事業 (街路) (建設部 道路課) (新市建設計画)

86, 210千円 (104, 900千円)

1 事業目的

上部地区を東西に結び、国道11号線を補完する路線であるとともに、テクノパーク・広瀬公園・山根公園など、本市の主要な観光施設を直線的に結び、生活支援、観光客の誘致等の観点から重要な路線であることから、早期の整備を図る。

2 事業年度

平成21年度～29年度

第1期 平成21年度～平成24年度 (L=387m)

第2期 平成25年度～平成29年度 (L=521m)

3 事業概要

- (1) 市道中須賀上原線から市道萩生出口本線までの区間
- (2) 延長908m
- (3) 幅員16m

4 25年度の事業内容

- | | | |
|---------|----------|----------|
| (1) 委託料 | 物件補償調査 | 3,500千円 |
| (2) 用地費 | A=6,200㎡ | 76,500千円 |
| (3) 補償費 | 立竹木・残地補償 | 5,000千円 |
| (4) 事務費 | | 1,210千円 |

5 財源内訳

- | | | |
|--------|-----|------------------------|
| (1) 国 | 55% | 46,750千円 (社会資本整備総合交付金) |
| (2) 一財 | | 39,460千円 |

フィールド1 快適交流

～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

(公) 角野船木線改良事業 (建設部 道路課) (新市建設計画)

72,360千円 (126,200千円)

1 事業目的

新居浜インターチェンジから山根公園を經由し、主要地方道新居浜別子山線・上部東西線を最短路線で結び、国道11号の慢性的な渋滞緩和を図るとともに地域住民の安全と生活経済活動を支えるため、早期の整備を図る。

2 事業年度

平成16年度～29年度

3 事業概要

- (1) 第2工区 (市道新田東縦道線～市道国領高祖線)
- (2) 延長 693m、幅員 12m

4 25年度の事業内容

- (1) 委託料 橋梁設計、登記業務 一式 13,000千円
- (2) 用地費 A=3,750m² 53,500千円
- (3) 補償費 立竹木・残地補償 5,000千円
- (4) 事務費 860千円

5 財源内訳

- (1) 国 55% 39,325千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 一財 33,035千円

(公) 新須賀山根支線整備事業 (建設部 道路課) (新規)

6,857千円

1 事業目的

河川敷内の自転車歩行者用道路を整備し、南側県道の歩道と接続することにより、新居浜駅から国領川緑地までをつなげ、自転車・歩行者の利便性、安全性の向上を図る。

2 事業年度

平成25年度～27年度

3 事業概要

工事延長：L=96m

4 25年度の事業内容

- (1) 委託料 3,500千円 測量設計 L=96m
- (2) 用地費 2,500千円 A=100m²
- (3) 補償費 500千円 立竹木
- (4) 不動産鑑定料 357千円

5 財源内訳

- (1) 国 55% 3,575千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 一財 3,282千円

(単) 新田松神子線改良事業 (建設部 道路課) (新規)

33,000千円

1 事業目的

本路線は、新居浜市北部の幹線道路、県道壬生川新居浜野田線の補完路線として、商店街や工場地帯へのアクセスに重要な役割を果たしているが、近年、大型車両の交通量が増加していることから、車両等の安全かつ円滑な通行を確保を図る。

フィールド1 快適交流

～人が集い、快適で利便性の高い都市の実現～

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

西原3丁目交差点において、右折車線設置等の交差点改良を行う。

4 25年度の事業内容

(1) 工事費		30,000千円
(2) 委託料	測量設計・用地測量	2,500千円
(3) 補償費		500千円

(単) 国道建設推進対策事業 (建設部 道路課)

10,417千円 (23,457千円)

1 事業目的

国土交通省が整備を進めている「国道11号新居浜バイパス」の推進に合わせ、接続する市道の拡幅等整備を行い、近隣住民の安全安心な交通の確保を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

3-1 工区 (中村松木～本郷 : L=1.1 km)	用地買収等
3-3 工区 (萩生～大生院 : L=1.5 km)	用地買収、工事等

4 25年度の事業内容

(1) 工事費	本村岸の下線	2,410千円
(2) 委託料	測量設計・用地測量 (沢本線)	2,200千円
(3) 用地費	沢本線	5,100千円
(4) 補償費	沢本線	300千円
(5) 事務費		407千円

(単) 道路整備事業 (建設部 道路課)

314,000千円 (255,812千円)

1 事業目的

市民生活に密着した市道の改良・整備・修繕・及び老朽化した舗装の更新等、維持管理に努め、市道の適正な機能を維持し、市民生活の安全性と利便性の向上に寄与する。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容 (22路線)

(1) 工事費	元船木東筋線外22路線	231,000千円
(2) 施設修繕料	道路施設修繕	10,000千円
(3) 用地費		15,400千円
(4) 委託料	測量設計等	41,500千円
(5) 補償費		13,100千円
(6) 事務費		3,000千円

◎JR新居浜駅周辺の整備

(公) 駅周辺整備事業 (建設部 区画整理課)

426,260千円 (1,531,720千円)

1 事業目的

駅利用者の利便性向上のため、南北自由通路や南口広場などを整備する。

2 事業年度

平成22年度～26年度

3 事業概要

- ・南北自由通路 W=6m L=約70m
- ・駅南駐車場 A=約3,000㎡
- ・南口広場 A=約2,600㎡ 人の広場 A=約2,550㎡

4 25年度の事業内容

- | | |
|--------------------------|-----------|
| (1) 補償費：駅南駐車場物件補償 | 600千円 |
| (2) 用地費：南北自由通路用地、駅南駐車場用地 | 137,000千円 |
| (3) 委託料：南北自由通路整備工事 施行委託等 | 153,239千円 |
| (4) 工事費：駅南駐車場整備工事等 | 118,500千円 |
| (5) 事務費： | 16,921千円 |

5 財源内訳

- | | | |
|---------|-----|------------------------|
| (1) 国 | 40% | 66,300千円 (社会資本整備総合交付金) |
| (2) 市債 | 90% | 16,500千円 (合併特例債) |
| | 95% | 89,700千円 (公共事業等債) |
| (3) その他 | | 4,500千円 (駐輪場使用料) |
| (4) 一財 | | 249,260千円 |

◎安心な住宅の整備

(公) 市営住宅耐震改修事業 (建設部 建築住宅課)

155,755千円 (12,476千円)

1 事業目的

公営住宅の適正な管理戸数を維持し、「新居浜市公営住宅等長寿命化計画」等により計画的な耐震診断、補強工事等を行い、住宅のセーフティネットとしての機能を高めるとともに、安全性の確保を行う。

2 事業年度

平成23年度～31年度

3 事業概要

旧耐震基準で建設された市営住宅のうち、耐震一次診断で、より精密な診断が必要と判定された住宅の耐震二次診断及び耐震補強設計を行う。

また平成24年度に耐震補強設計を行った住宅について耐震補強工事を行う。

4 25年度の事業内容

- | | | |
|---------|------------------------------|-----------|
| (1) 委託料 | 耐震診断及び耐震補強設計業務委託 | 11,755千円 |
| | ・瀬戸団地、南小松原団地(7-4号棟・7-5号棟) | |
| (2) 工事費 | 耐震補強工事 | 144,000千円 |
| | ・東田団地(1号棟・2号棟)、南小松原団地(7-3号棟) | |

5 財源内訳

- | | | |
|--------|------|------------------------|
| (1) 国 | 50% | 77,877千円 (社会資本整備総合交付金) |
| (2) 市債 | 100% | 73,900千円 (公営住宅建設事業債) |
| (3) 一財 | | 3,978千円 |

(公) 公営住宅建替推進事業 (建設部 建築住宅課)

35,241千円

1 事業目的

新居浜市の公営住宅の適正な管理戸数を維持するために、老朽化した住宅施設の計画的な建て替えを推進し、居住者の安全性を確保するとともに、バリアフリー性能の向上等、共生環境の整備を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

新居浜市公営住宅等長寿命化計画に沿い、老朽化の著しい市営住宅の建て替えを行うための実施設計委託、解体工事等を行う。

4 25年度の事業内容

- 南小松原団地9-1号棟(24戸)
- | | |
|----------|----------|
| (1) 実施設計 | 21,074千円 |
| (2) 解体工事 | 12,627千円 |
| (3) 移転補償 | 1,540千円 |

5 財源内訳

- | | | |
|--------|------|------------------------|
| (1) 国 | 50% | 17,449千円 (社会資本整備総合交付金) |
| (2) 市債 | 100% | 17,400千円 (公営住宅建設事業債) |
| (3) 一財 | | 392千円 |

◎公園・緑地の整備

(公) 都市公園整備事業 (建設部 都市計画課)

192,100千円 (412,558千円)

1 事業目的

良好な都市環境を創出し、スポーツ・レクリエーションなどの市民活動の場であり、避難地など災害拠点の場として活用できる都市公園を整備する。

2 事業年度

平成23年度～平成26年度

3 事業概要

神郷公園の整備を図るため、公園用地を購入し、造成工事を実施する。

藤田家より提供された旧藤田邸跡地を岡城館歴史公園として整備する。

4 25年度の事業内容

(1) 用地費	神郷公園用地	107,500千円
(2) 補償費	工作物等移転補償	1,000千円
(3) 工事費	神郷公園造成工事	31,500千円
	旧藤田邸跡地整備	50,000千円
(4) 事務費		2,100千円

5 財源内訳

(1) 国	50%外	51,000千円 (社会資本整備総合交付金)
(2) 市債	90%	79,000千円 (公共事業等債)
	90%	46,100千円 (地域活性化事業債)
(3) 一財		16,000千円

(公) 公園長寿命化対策事業 (建設部 都市計画課)

30,000千円

1 事業目的

都市公園における公園施設について、安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、予防保全的管理による長寿命化対策を含めた計画的な改築等に係る取り組みを進め、もって公園施設の更新需要への効果的・効率的な対応を通じたストックの有効活用を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

滝の宮公園、新居浜公園については、整備から年数が経過し、トイレ等の各施設も老朽化していることから、改修を行う。

4 25年度の事業内容

(1) 測量設計委託料	滝の宮公園、新居浜公園	5,000千円
(2) 工事費	滝の宮公園第1駐車場周辺改修工事 (便所・駐車場・園路等)	25,000千円

5 財源内訳

(1) 国	50%	15,000千円 (社会資本整備総合交付金)
(2) 一財		15,000千円

◎港湾の整備

(施) **臨海工業用地造成事業 (企画部 港湾管理課)** (新規)

7,000千円

1 事業目的

臨海部に大規模事業所の立地及びその協力会社の集積が望まれており、臨海部に新たな工業用地を確保するため、港湾計画に工業用地等を位置づけ、工業用地等の造成を推進するとともに、公共事業に伴い発生する建設発生土及び河川、海の浚渫土砂の円滑な処分を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

港湾計画の軽易な変更を行い、工業用地等の位置付けを行う。

4 25年度の事業内容

(1) 委託料 7,000千円

(公) **海岸(補修)事業 (企画部 港湾管理課)** (新規)

3,000千円

新居浜港務局が実施する港湾整備事業費のうち、一般財源分について負担する。

事業名	事業費	国費	県費	一財
海岸(補修)事業	9,000	4,500	1,500	3,000

※以下港務局ベースの事業費

◆海岸(補修)事業 9,000千円

1 事業目的

建設後約50年が経過し老朽化が進んでいる中須賀護岸について、護岸崩壊による浸水地域を防護し、危険を未然に防止することで、地域住民の安全・安心の暮らしを守る。

2 事業年度

平成25年度～平成29年度

3 事業概要

護岸改良 L=66m

事業費 66,000千円

4 25年度の事業内容

(1) 実施設計委託料 3,000千円

5 財源内訳

(1) 国 50% 4,500千円 (社会資本整備総合交付金)

(2) 県 1,500千円

(3) 一財 3,000千円